

# AIRHEADS通信

vol.

64

## APIでビジネスできるの？ 「Airheadsアカデミー」体験記その2

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

インドネシアから日本にやってまいりましたディーンです。

来日当時のことですが、自分の名前を伝えることに苦労した経験があります。

日本語の難しさなのか、ディーンという発音がなかなか相手に伝わりにくく、“リンさん”“リーンさん”など、正確に聞き取っていただけないケースも。それは私だけでなく、妻も含めた家族全員の悩みの種でした。

確かにサラリーマンである私は、名刺を渡して表記を見ていただければ伝わることが多いのですが、特に妻は名刺を渡すわけではないので、なかなか大変なこともあるようです。

しかし、最近妻が「ディーン・フジオカのディーンです」と名乗ると一度で聞き取ってもらえ、しかも覚えてもらいやすくなったと嬉々として報告が。

イケメンのフジオカさんに感謝しつつ、

**妻が外でどんな自己紹介しているのだろうと、**

そちらの方が気になってしまいました。

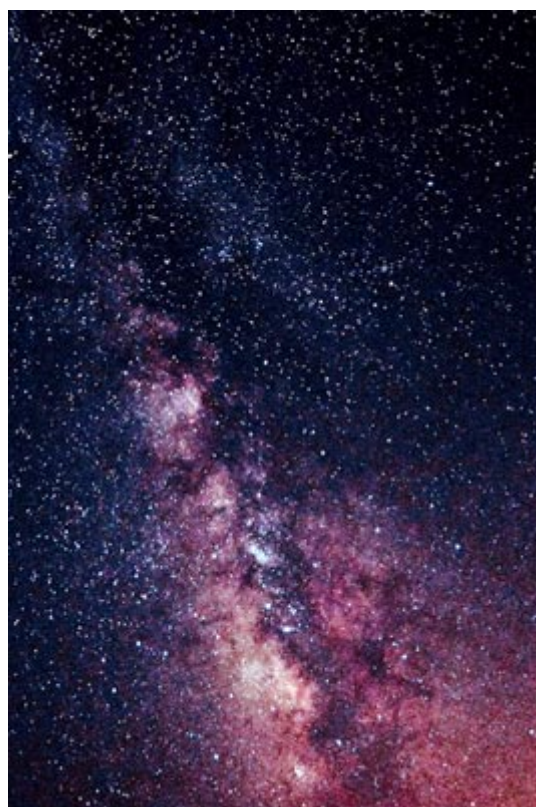
さて、最近は秋の訪れを感じることも幾日かあったような気がしますが、結局は酷暑に逆戻り。先日車に乗っていたら、神奈川県海老名市付近でカーナビに表示された温度計の数値を見てびっくりしてしまったほど。



## 45°Cって...

南国出身の私でも驚愕の数字、日本はどこに向かうのでしょうか。

あまりの暑さに、夏休みは涼しい山に連れて行って欲しいと家族から懇願され、今年は無鞍高原へ。民宿にクーラーが設置されていなかったのには一抹の不安を覚えました。さすが高原だけに夜は肌寒いぐらい。避暑地としては最高の場所でした。



これは無鞍高原の三本滝から見た、天の川の中心です。

民宿の夜は、さまざまな虫が来訪する“にぎやか”なひと時も経験しました。

**大喜びの子供たち、そして虫が苦手な絶叫する妻...**

いずれにせよ、雄大な自然に感動しきりの夏休みでした。

そうそう、インドネシアではあまり聞きませんが、日本では“家に安全に着くまでが遠足”と子供の頃から言われているようですね。確かに、旅が楽しい思い出に代わるのは、安全に帰宅してからこそ。

ネットワークも、安全に利用できてからこそ。

**強引ですが、ぜひネットワークセキュリティもArubaにご期待ください。**

## APIでビジネスできるの？

### 「Airheadsアカデミー」体験記その2



前回に引き続き、Arubaが開催するネットワーク関連の勉強会「Airheadsアカデミー」の詳細について。一緒に参加したディーンを中心に、Arubaが提供するAPIに関連した情報や新たなサービスプラットフォームとなるArubaOS8に関するネタなど、アカデミーにふさわしい内容が盛りだくさん。併設イベント「Atmosphere @ Tokyo」の話題に関するご紹介。



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



前回は大輔さんが参加した、Airheadsアカデミーについてですけど。



おお、そうだね、その話したな。



で、もう少しどんなことが学べたのか、詳しく教えて欲しいんですけど。



どんなことって...えーと、ディーン、どんなこと??



大輔サン、全然覚えてないんですか?



いや、全然というわけでは。APIのセッションがあったことは覚えているよ。ビジネスチャットのSlackスゲーとか、配車アプリのuberもスゲーな、とかさ。



まあそのキーワードが出てきただけでも良しとしまショウ。  
ようはAPI活用が現実的にビジネスになっているのかという話でシタね。



確かにAPIって便利だけど、それって本当に商売になるのかって話ですよ。



セッションの中では、APIの基本的な概念のおさらいからAPIを活用したときのメリット、実際のビジネスシーンでの活用例など、APIにまつわる情報が出ていまシタね。



そうだった、その例がSlackだったりuberだったりしたな。  
まあAPIでうまくビジネスしているって。



Slackなら各種業務アプリケーションのインターフェースとなり、APIで外部サービスと連携していますもんね。



おっしゃる通り。APIを公開しているSlackは、週に15万人を超える開発者がAPIを活用して何らかの開発をしている状況にあるみたいですよ。



めちゃめちゃAPIって活用されてるんだねー。



uberも結局のところ、地図はGoogle、ドライバと利用者のコミュニケーションはtwillo、インターネットを使った決済はBraintreeと、基本はAPIで外部サービスを呼び出していますからね。



もはやAPIはサービス面では欠かせないものであり、API経済圏、いわゆるAPIエコノミーは広がっていると言えます。  
日本でもFintch分野では銀行各社がオープンAPI対応を進めていますしね。



でもさ、結局ネットワークの世界でAPIってどうなの？



そう！そこですよ、結局は。  
あくまで一般論ではAPIは広がっているのはわかるんですよ。



具体的な活用はこれからですが、実際にはアイデアも出ています。  
セッションで話が出たのはオペレーションの自動化やシステム間連携での活用が紹介されています。



どんな内容だったっけ？



ルーチンワークの自動化や各種設定情報の一括取得などがオペレーションの自動化で、ClearPassとAirwaveのデータ統合などシステム間連携の例が出ていますね。まだ一例紹介ですが、まだまだ可能性はありそうです。



APIはアイデア次第で色々活用の幅がありそうですね。



そうそう、実装のイメージもAmazon Echoを使って紹介していますね。





なるほど、Aruba Centralから情報を取得して音声で回答させる場合の動きか。



大輔さん、現場で見たんでしょ？



まあ見たはず...だけど覚えていない。



ちなみに他にもセッションはあったんですか？



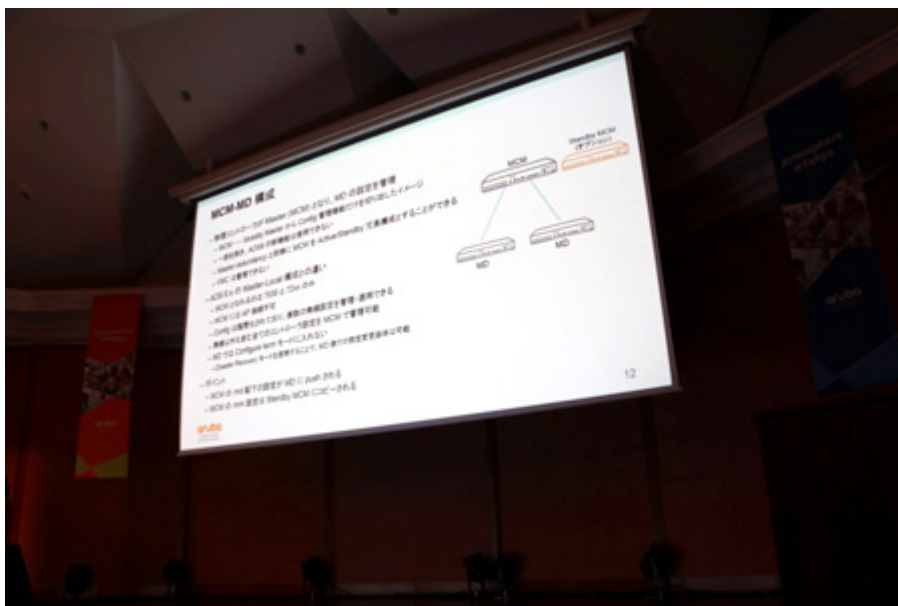
新たなサービスプラットフォームとなるArubaOS8についての詳細な情報が解説されていまシタ。



ああ、モビリティマスターってやつが紹介されていたな。もともとAruba6におけるマスターコントローラの代わりになるやつの話も出てた気がする。



実際にはコントローラ単独での動作とモビリティコントローラを利用した場合の動作が違うノデ、機能ごとに注意が必要デス。また、CLIでの設定画面も紹介されていたし、GUIでもライセンス投入方法など、かなり実践的な内容でシタ。さすが、アカデミーと名前が付くだけのことがありまシタよ。



確かトラブルシュートのポイントなど、何かあったときのポイントが細かく紹介されてたな。うん、勉強になった。



また一、ほとんど記憶がないくせに。



ほとんどじゃないよ、全然覚えてない...あ、覚えているのがあった。



どんなことですか？



実際にArubaの環境をリモートで触ることができる「リモートラボ」を提供するって言ってたな。機器はArubaの拠点がある大島にあって、インターネット経由で入ってサンプルコンフィグを見ることもできる環境を用意したって。



それは便利そうじゃないですか。  
自前で環境作らなくても、触れるのはうれしいじゃないですか。



あとは、同日開催した「Atmosphere @ Tokyo」と呼ばれるローカル Atmosphereのイベントかなあ、印象に残っているのは。



そうか、Airheadsアカデミーが午前中で、午後はAtmosphere @ Tokyoが開催されたんですね。その内容はどうでした？



最初に登壇したアジア太平洋地域担当バイスプレジデントのスティーブ・ウッドさんが静かな立ち上がりだったのに対して、アジア太平洋地域担当 CTOのアモール・ミトラさんはすごいパワーだった。



そんなに印象が強いですか？



カンペを見ながら「境界セキュリティ」って日本語を絶叫してたw。しかも、来年はもっとキレイな日本語をしゃべれるようになっておいて宣言してたよ。



面白い方ですね。



ほかにも、ネットワークアーキテクチャの進むべき未来や10年後を見据えた運用ロードマップやセキュリティに関する話題、そして次世代無線LAN規格802.11axなんかの話題もあったね。



事例では神戸大学やアステラス製薬株式会社の方がお話をされていまシタ。Aruba 8400スイッチの導入も含めて、興味深いモノでシタ。



Atmosphere @ Tokyoも盛りだくさんの内容みたいですね。いやー、参加すればよかったあ。



まあこれからもイベントは開催されるので、今度はみんなで参加しようよ。



そうですね、ぜひご一緒させてください。



ということで、僕もしばらくこちらの本社にお世話になるからさ。



いくら自宅から近いといっても、ちゃんと自分の会社に出社してくださいよ。



まあ、その辺は上司へよしなに伝えておくからさ。





いや、さすがにそれは...あれ？大輔さんの上司からメールが来てる。



なんて書いてある？  
どうせ面倒見きれないからそちらで頼むって書いてあるんじゃない？



そんな無責任なこと書くわけ.....まじっすか...



ま、そういうことだから。しばらくよろしくね。



溜息しか出ませんよ...

==== 【おしらせ】 =====

Airheadsアカデミーシーズン2 第1回の動画を公開しました！  
下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

=====

#### バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！無線LANトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！無線LANトラブルの回避トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)
- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！マカオ「APAC Atmosphere 2017」ルポ (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ...事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレールポ (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~60)
- ▼ 再考すべきLANスイッチ選択 (vol.61~62)
- ▼ 「Airheadsアカデミー」体験記 (vol.63~)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。